

デザイン系

審査評

デザインという一般には曖昧に捉えられがちな分野であるにも関わらず、幅広い世代の方々から意欲的な作品が集まりました。

Web 審査という初の試みで、実際の現物が持つ迫力までは感じ取れなかったかもしれませんが、ことデザイン成果を拝見する意味ではむしろ好環境だったとも言えます。デザインにおいては物理的なモノとしての作品性よりは、表現された内容が様々な状況下において豊かなコミュニケーションを成し得るかが重要です。その意味で今回の入選作は、明快な分かりやすさによる「情報」としての豊かさを目指した作品と、見る人に多様な発見や解釈を促す「テーマ」としての豊かさを目指したもの、またそれらを巧みに重ねたものがそれぞれ選ばれたと思います。視覚デザインとして完成度の高いものもあれば、もう一歩だけ発展性を十分に孕んだものもあり、出品者に応じた幅広い選定結果になったのではないのでしょうか。

(株式会社 GK デザイン総研広島代表取締役社長 彌中敏和)